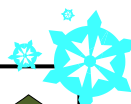


東北初

安居楽業 ゼミナル

拡大版 はたらく



■日時：2014年12月12日（金）13:20 受付～13日（土）14:30
■場所：12日…盛岡地域交流センター マリオス 交流会…ホテル東日本
13日…岩手県民情報交流センター アイーナ

※1日目・2日目・
交流会は会場が
変わります！

おさそい

今年で6年目を迎える、きょう
されん「安居楽業ゼミナル」。

東北初の開催を記念して、今回
は安居楽業ゼミナルの魅力を凝
縮したスペシャルバージョン「拡
大版 はたらく」を行ないます。

1日目に、交流会も開催!!ぜひ、
親交を深める場にさせていただき
たいと思います。

今年1月、日本は障害者権利条
約の批准国になりました。しかし、
精神科病床転換型居住系施設問
題、生活保護基準の引き下げなど、
障害のある人たちをめぐる状況
は、困難さを増すばかりです。

障害のある人の「はたらく」権
利を条約のレベルにまで引き上げ
ていくためには、労働だけでなく
「くらし」や「地域」の支えが欠
かせません。

今研修会では、障害のある人の
労働に加え、くらしや、地域での
支援にまで視点を広げて、企画を
構成しました。2日間を通して、
権利条約をどう具体化していくの
か、そのために何を
学び、実践していく
のかを確かめあいま
しょう。



【企画】

きょうされん
教育・研修委員会

1日目：12月12日（金）

■会場：盛岡地域交流センター マリオス
13:30 開会（13:20～ 受付）

13:30-14:30 基調報告「障害者施策の最新動向」

◎講師：後藤 強（きょうされん常任理事）
障害者権利条約の批准を踏まえ、社会保障水準の引き下げに抗しながら、どう運動を形づくっていくのか？情勢と今後の運動のあり方を共有します。

14:30-15:50 講義「障害者権利条約と地域でくらすということ」

◎講師：赤松 英知（きょうされん常務理事）
障害のある人が「地域でくらす」権利を手にするために必要なものとは…精神科病院をなくした町、イタリア・トリエステの視察の報告も交えながらの講義です。

16:00-17:00 現場からの報告「被災地の今 カリーより愛をこめて」

◎講師：小幡 勉氏（カリー亭 鳥もとオーナー）
東日本大震災で被災し店舗を失った、岩手県宮古市「カリー亭」。障害のある人の雇用にも積極的にとりくみ、美味しいものを作ることでみんなを元気にしたい！と語る小幡氏の報告です。

■会場：ホテル東日本（マリオスより徒歩10分）

18:00-20:00 交流会「おでんせ 東北へ 一期一会会」

おでんせ（ようこそ）、東北へ！の思いをこめて、おもてなし。
地元の料理に舌鼓を打ちながら、日々の実践を語りあいましょう！
※参加人数 限定100名まで



2日目：12月13日（土）

■会場：岩手県民情報交流センター アイーナ

9:30-12:00 実践報告「障害のある人の働くを支える in 東北」

◎報告者：八木橋 敏晃氏（あいゆう工房／青森）
：遠藤 克弥氏（はらから福祉会／宮城）
：熊田 芳江氏（生活支援センターこころん／福島）
重度重複障害のある人を支える実践や、豆腐事業を中心に仕事づくり、高工賃を進める実践、そして、農業と里山再生を軸に地域とつながる事業展開…東北3県からの実践報告です。

12:00 昼食休憩

13:00-14:30 最終講義「障害のある人の労働 ディーセント・ワーク」

◎講師：松井 亮輔氏（法政大学名誉教授）
ディーセント・ワークとはなにか、労働観や人間観にまで掘りさげて、国際的な就労問題にもくわしい、松井先生が最終講義を飾ります。

14:40 終了（14:30～アンケート記入）